

## イチゴハダニゼロプロジェクトについて

今年は梅雨らしい梅雨となり、6月下旬以降はスッキリしない天候が続いております。曇雨天が続くと防除のタイミングも難しく、各作物で病害の発生が懸念されるところかと思いますが、各薬剤の特性を把握したうえで適期防除に努めていただければと思います。

また、本誌が皆様のお手元に届く頃には梅雨が明け、夏の猛暑が心配されるのではないかとと思われます。こまめな水分・塩分補給、休憩を挟みながら夏の作業を乗り切っていただければと思います。

### (1) ハダニゼロプロジェクトとは…？

いちご栽培において、ハダニは難防除害虫の1つであり、いかにして被害を抑えるかが収量アップのポイントである。しかし、ハダニは世代交代が早いので薬剤抵抗性の発達が早く、化学薬剤のみに頼る防除には限界があり、気づいたときには壊滅的な被害を招く危険性がある。

そこで天敵製剤を柱として化学農薬を併用し、「いちご栽培期間中にハダニピークをつくらない（発生を許容範囲内に抑える）」ことを目的としてハダニゼロプロジェクトが発足した。

### (2) ハダニゼロプロジェクト防除プログラム

#### ①育苗期～定植まで

育苗期の方が本圃よりも葉裏まで薬剤が付着しやすく、効果が出やすい。定植までに苗のハダニ発生を抑えて本圃に持ち込まないようにする。

#### ②本圃

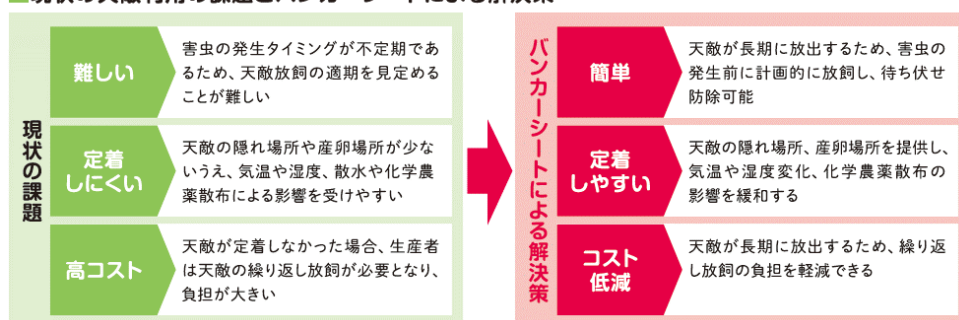
10月下旬～11月上旬にミヤコバンカーを放飼するが、ハダニ密度のゼロ放飼が出来るかがハダニ防除の成否を分ける。ミヤコバンカーはハダニの制圧よりも**長期的な待ち伏せ防除**に適した資材であることを理解する。

その後は発生状況に応じて化学薬剤でレスキュー防除を実施する。天敵資材は生き物なので絶対的な効果が保証されるものではない。特性を理解し、助け合うことが重要である。

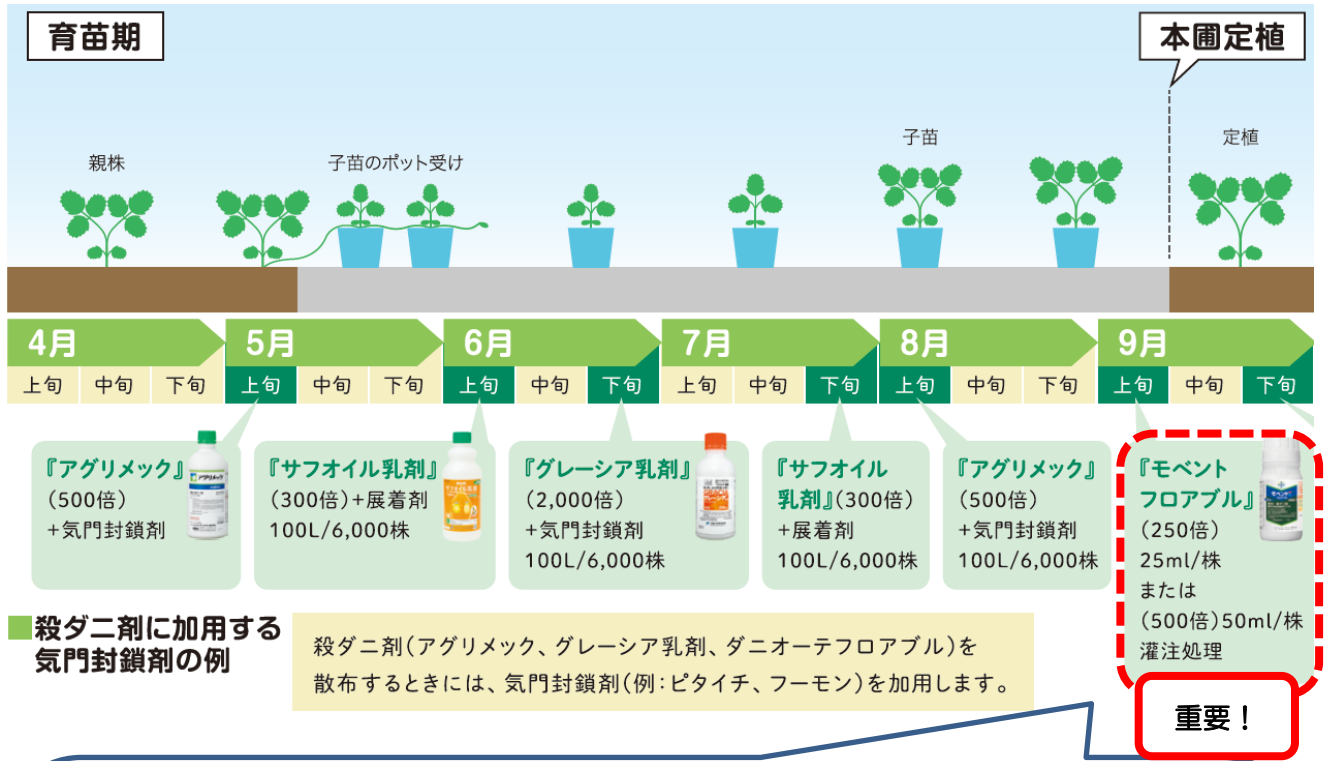
#### (バンカーシート概要)



#### ■現状の天敵利用の課題とバンカーシートによる解決策



③防除プログラム概要図



**【モベントフロアブルの灌注について】**  
モベントは効果の高い薬剤だが、正しく使用しないと効果が落ちやすい。

～使用のポイント～

- ① 苗をコンテナに隙間なく詰めて、コンテナを隙間なく並べる。
- ② 頭上灌水を行う。  
⇒ 規定の薬液量をロスなくポット内に投入する。

【コンテナ断面図】 苗を隙間なく詰める

【頭上灌注イメージ図】 コンテナを隙間なく配置

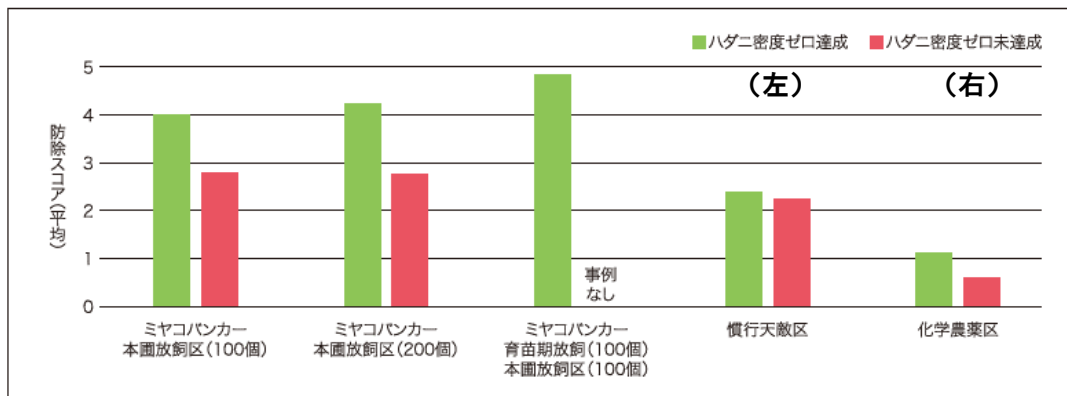


### (3) ハダニ防除成功のポイント

#### ①ゼロ放飼の徹底

ミヤコバンカー放飼時にハダニ密度をゼロに抑えることが重要である。以下はゼロ放飼とハダニゼロプロジェクト成否の相関である。(2015~2020年の試験平均スコア)

参考データ ミヤコバンカー本圃放飼時のハダニ密度と防除スコアの関係



#### 【作期を通じた防除スコアの評価方法(試験毎に評価)】

- ▶ 5点(◎): 作期を通じてハダニ密度を低く抑えた。
- ▶ 3点(○): 12月迄はハダニ発生が見られたが、1月以降はハダニ密度を低く抑えた。
- ▶ 1点(△): 2月迄はハダニ発生が見られたが、3月以降はハダニ密度を低く抑えた。
- ▶ 0点(x): 作期を通じてハダニ発生を抑えられなかった。または、3月以降はハダニ発生が急増した。

#### ②薬液量の確保

薬剤の効果を高めるためには薬剤が十分に葉裏まで付着することが重要である。育苗期は子苗 6,000 株あたり 100L の薬液を散布する。

参考データ 試験/使用液量とハダニ類の防除効果

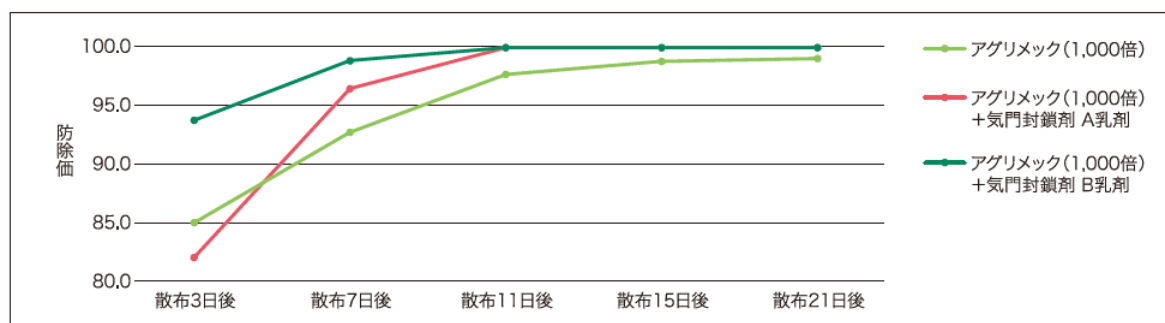
No	ミヤコバンカー設置個数(10a)	圃場全体ハダニ指数								使用液量		
										育苗期	本圃初期	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	L/6,000株	L/10a	
圃場1	(1)	100個	0.00	少発生	0.38	0.35	0.97	—	1.18	0.24	35-60	130
	(2)	200個	0.00	少発生	0.38	0.35	1.69	—	0.95	0.03		
圃場2		100個	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.00	100	280

#### ③気門封鎖剤の混用

ハダニ剤と気門封鎖剤の混用で相乗効果があることが確認されている。ハダニ剤を散布するときはピタイチやフーモン等の気門封鎖剤を混用する。



参考データ 試験/アグリメックに軽度な抵抗性を示すハダニを対象にしたアグリメックと気門封鎖剤による防除効果



# DZ作戦による 電気柵下草管理の省力化！

プラスα  
マンガシリーズ  
第131弾！！



**1** イノシシやシカが入ってこないようにせつかく電気柵を設置したのに... なんてやられたんだー！

うーんこれは漏電が原因ですね

**2** 下草の雑草が柵のワイヤーに接触すると漏電を引き起こして電気柵としての効果が不十分になって獣を追い払うことができなくなるんです

でも雑草が伸びるたびに刈払機で除草するのは大変だなあワイヤー切っちゃうかもしれないし！

**3** DZ作戦なら電柵の下草管理を省力化できますよ！

DZ作戦？

**4** やり方はとっても簡単！ダイロンゾルとザクサ液剤を混ぜて撒くだけです！

水にダイロンゾルを入れてよくかき混ぜ

その後ザクサ液剤を入れて混ぜる

雑草だけでなく地面にもしっかりとかかるように撒くのが効果を高めるポイントです

そんなに簡単な!?

**5** 地上部を枯らすザクサと雑草の発生を抑えるダイロンの二つで除草効果が約60日続きます！

刈払機での作業4回分がDZ散布の1回に

人件費	薬剤費
燃料費	人件費
労働時間	燃料費
	労働時間

除草回数が減って人件費、燃料費、労働時間も削減できますよ！

それはすごいな！

**6** よーし！うちもDZ作戦で獣害対策に革命を起こすぞー！

ザクサは大型規格の5L、20Lがおすすです！

\*引用：「イチゴハダニゼロプロジェクト」冊子（全農作成）

\* 8月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。

JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>